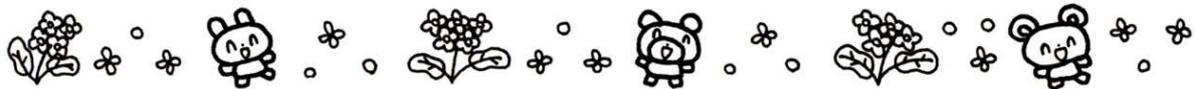




# りすぐみだより

2021年度3月号 社会福祉法人 尚徳福祉会 保育園川崎ペアーズ

暖かい日と寒い日を繰り返して少しずつ春が近づいてきていますね。早いものでりす組での生活もあと1か月。1番成長の著しい大事な時期を子どもたちと一緒に過ごし、保護者の皆様と共に子どもたちの姿や笑顔を見守ってこられたことを嬉しく思っています。今は友だちと一緒に過ごすことが楽しくて仕方ない様子の子もたち。残りの日々も沢山の笑顔を見せながら元気いっぱい！動いて・遊んで・沢山食べて…過ごしていきたいと思っています。1年間ありがとうございました。



## できることが増えました！！

入園当初は、ハイハイをしていた子どもたちですが今は公園を走りまわりボールを追いかけています。動きが活発になりマットに登りジャンプで降りることを繰り返し遊んでいます。最初は保育者に支えられて座っていたコンピカーも自分で動かし廊下を走らせています。友だちとの会話も増え「どーぞ」「どーも」のやり取りを楽しみ「〇〇ちゃんいない」などお休みの友だちの心配をする姿も見られます。離乳食からスタートした食事は、好みが出てきて一口食べると「うまい！」という子や、目をキラキラさせおかわりを催促する子などさまざまです。保育者が口に運んでいた食事は手づかみ食べから食具で上手に食べています。できた時の自信に満ち溢れた子どもたちの笑顔は本当に素敵です。これからも自分でやってみたいという気持ちをどんどん育てていきたいですね。



## 3月の手遊び 『りんごがコロコロ』

1. りんごがゴロゴロ 繰り返し  
(胸の前で両手をグーにして回す)
2. みーかんかん 繰り返し  
(グーにした手で頭を叩く)
3. ピーマンピーピー 繰り返し  
(指笛のポーズで)
4. しいたけシー 繰り返し  
(人差し指を口の前に出す)



## 絵本だいすき

絵本が大好きなりす組の子どもたち。最近「ごんべさんの赤ちゃんがかぜひいた」を手遊びしながら読むのがブームになっています。子どもたちの特に好きな部分は「かぜひいた」の部分で保育者が「くしゅん」と言うと真似をして「くしゅん」と言っています。うさぎ組には子どもたちの好きな絵本がたくさんあります。進級に向けて、うさぎ組で遊ぶ時間を作りスムーズに新しい環境に慣れていけるようにしていきたいと思っています。